

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)麗澤大学新学部設置に伴うキャンパス再整備計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										4.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.6
1 音環境						3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.6	0.40		-	
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2				5.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20		-	
1.3 吸音						3.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.4	0.35		-	3.4
2.1 室温制御						3.8	0.50		-	
1 室温						3.0	0.60		-	
2 外皮性能		加重平均レベル5.00				5.0	0.40		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	-		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.4	0.25		-	3.4
3.1 昼光利用						3.4	0.30		-	
1 昼光率						3.0	0.60		-	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備		昼光利用設備を採用				4.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30		-	
1 昼光制御		ブラインドと庇の組み合わせ				4.0	1.00		-	
3.3 照度						3.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気質環境						4.5	0.25		-	4.5
4.1 発生源対策						5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆を採用				5.0	1.00		-	
4.2 換気						3.6	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		居室面積131.22㎡、開口面積30.10㎡、居室面積の1/10以上の開口				5.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						4.5	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		手動による計測を前提としたシステムと空気質を適正に維持するために整備されている。				4.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.6
1 機能性						4.0	0.40		-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-		-	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		教室の天井高 3.90m				5.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画		コンセプトを重視した設計を行っている。				5.0	0.50		-	
1.3 維持管理						4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計が充実している。				5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理用機能の確保において標準以上の取組みをしている。				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						1.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高の平均値3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.133	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	-	-	
教室、研究室で2900N/㎡以上							
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	空調機などの主要機器においてバルコニーからクレーンなどで降ろ	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	屋上にバックアップスペースの確保を計画している。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.8
1 生物環境の保全と創出			5.0	0.30	-	-	5.0
緑化を多く有している。							
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40	-	-	5.0
アスファルト舗装となっている既存駐車場付近の外構整備、緑化を図							
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			5.0	0.50	-	-	
地域性、アメニティに充実した取り組みを行っている。							
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50	-	-	
緑化を多く有している。							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20	-	-	5.0
BPI=0.61							
2 自然エネルギー利用			4.0	0.10	-	-	4.0
太陽光発電設置予定							
3 設備システムの高効率化			4.5	0.50	-	-	4.5
[BEI][BEIm] = 0.65							
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	エネルギー消費量の目標値が計画されている。	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
省エネ型機器の採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生木デッキ、再生木ベンチ、タイルカーペット	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	持続可能な森林から算出された木材の使用比率 80.13%	5.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30	-	-	
ガラス用シーリング、サッシ用シーリング、防水工事のプライマー、建具塗装(金属製)							
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ウレタンフォーム断熱材を使用	4.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33	-	-	3.9
ライフサイクルCO2排出率77%							
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
燃焼機器を使用していない							
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水流出抑制対策等を実施している	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場、自転車置場の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ごみの分別回収容器・ボックスの設置位置などの計画を立てている	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		-	-	-	-	
2	砂塵の抑制		4.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制			4.7	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	飛散防止用フィルムの採用。	4.0	0.30	-	-	